

平成 25 年 12 月吉日

日本建築学会会員 各位

日本建築学会群馬支所
支所長 大冢 義樹

群馬支所主催 見学会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さてこの度、別紙案内のとおり本支所主催の見学会を開催する運びとなりましたこと、お知らせ致します。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご参加頂ければ、誠に幸いに存じます。

敬具

※FAX で申し込まれる方は、別紙案内の「■申込方法」をご覧頂き、下記申込書をご利用ください。

(なるべく E-mail でのお申込みをお願いします)

FAX 用 申込書【申込締切 2014 年 1 月 20 日(月)】

群馬支所事務局 稲見宛 FAX 027-265-7359

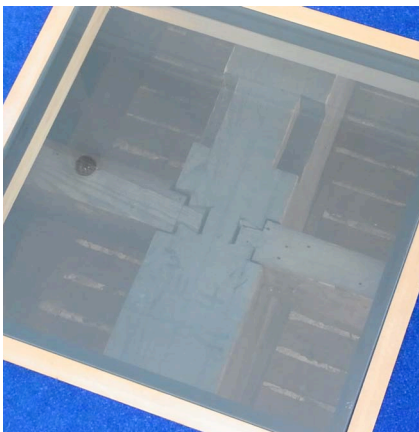
見学会「館林駅近傍 地元企業の建築とまちづくり～正田醤油・日清製粉の取組みから」の参加を申し込みます。

※グループの場合は、全員のお名前と代表者の連絡先をご記入ください。

お 名 前
代表：

代表者ご連絡先	
所属	
住所	〒
電話番号	
携帯番号	
FAX 番号	

館林駅近傍 地元企業の建築とまちづくり ～正田醤油・日清製粉の取組みから



■主催： 日本建築学会関東支部 群馬支所

■趣旨： 館林駅西側には、この地を発祥とする企業である正田醤油(株)および日清製粉(株)がある。両社ともに創業から優に100年を超えてなお盛栄な優良企業であり、長年における館林市への貢献は計り知れない。この両社に共通する理念として、歴史・伝統への敬意や、地元貢献への意識が挙げられよう。正田醤油(株)は、その本社敷地内で長年使用してきた社屋や蔵等の建物を、時代のニーズに合わなくなったと安易に取り壊すのではなく、新たな用途にリニューアルすることで使い続けている。また日清製粉(株)は、既に当地での操業を終えているが、製粉に関する情報発信のための「製粉ミュージアム」を開館し、発祥の地としての象徴と誇りを表わすとともに、館林駅周辺のまちづくりにも貢献している。当見学会では、これら地元企業が社屋等の建築を通じて、建物の歴史的価値を示唆するとともに、地元のまちづくりに貢献する取組みを見学する。また、併せて館林駅周辺地区のまちづくりの状況も概観する。

■日時： 平成26年1月26日(日)午前8時20分～午後5時30分

■集合時間・場所： 午前8時20分 前橋工科大学東駐車場(前橋市上佐鳥町460-1、駐車可能)

■見学場所：

- ①正田醤油本社： 醤油蔵等の歴史的建物を本社屋や多目的ホール等にリニューアルし、一部は一般利用に供する。第16回 BELCA 賞受賞。その他、敷地内にある複数の歴史的建物を文化財登録する等、歴史的建物を大切にしながら現代の企業運営にも活かしている。
- ②製粉ミュージアム： 日清製粉グループ発祥の地である当地において、製粉に関する博物館(新館)および記念館(本館)として平成24年にオープンした。記念館は創業以来、工場や事務所として長年使用してきた同社のシンボリックな洋風木造建物を、免震レトロフィットを施しリニューアルしている。
- ③館林駅周辺地区： 現在、館林駅西側地区は土地区画整理が進められており、新しい駅広や製粉ミュージアム等を含めた、新たな駅周辺のまちづくりに取り組んでいる。

■行程： 下記の行程を貸切バスでまわります。

8:20 前橋工科大学 出発 — 10:00 見学「正田醤油本社」(解説：正田醤油担当者様) —
11:30 (バス移動) — 12:00 昼食「つつじが岡パークイン」 — 12:40 (バス移動) —
13:00 見学「製粉ミュージアム」(解説：清水建設担当者様、ミュージアム担当者様) —
15:00 見学「館林駅周辺地区」(解説：館林市都市計画課担当者様) — 16:00 (バス移動) —
17:30 前橋工科大学 到着

■案内人： 稲見 成能(前橋工科大学)

■定員： 40名(申込先着順)

■参加費(当日徴収、バス代・昼食代・入館料・保険代含む)： 1,000円

■申込方法： 平成26年1月20日(月)までに、お名前、所属、連絡先(住所、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)を明記の上、E-mail(またはFAX)にてお申し込みください。定員に達した場合のみお断りのご連絡をいたします。

■申込み・問合せ先：

前橋工科大学内 日本建築学会群馬支所 稲見宛

E-mail : inami@maebashi-it.ac.jp

TEL : 080-1377-4452 FAX : 027-265-7359

※お申込み・お問合せはなるべく E-mail でお願ひします。